

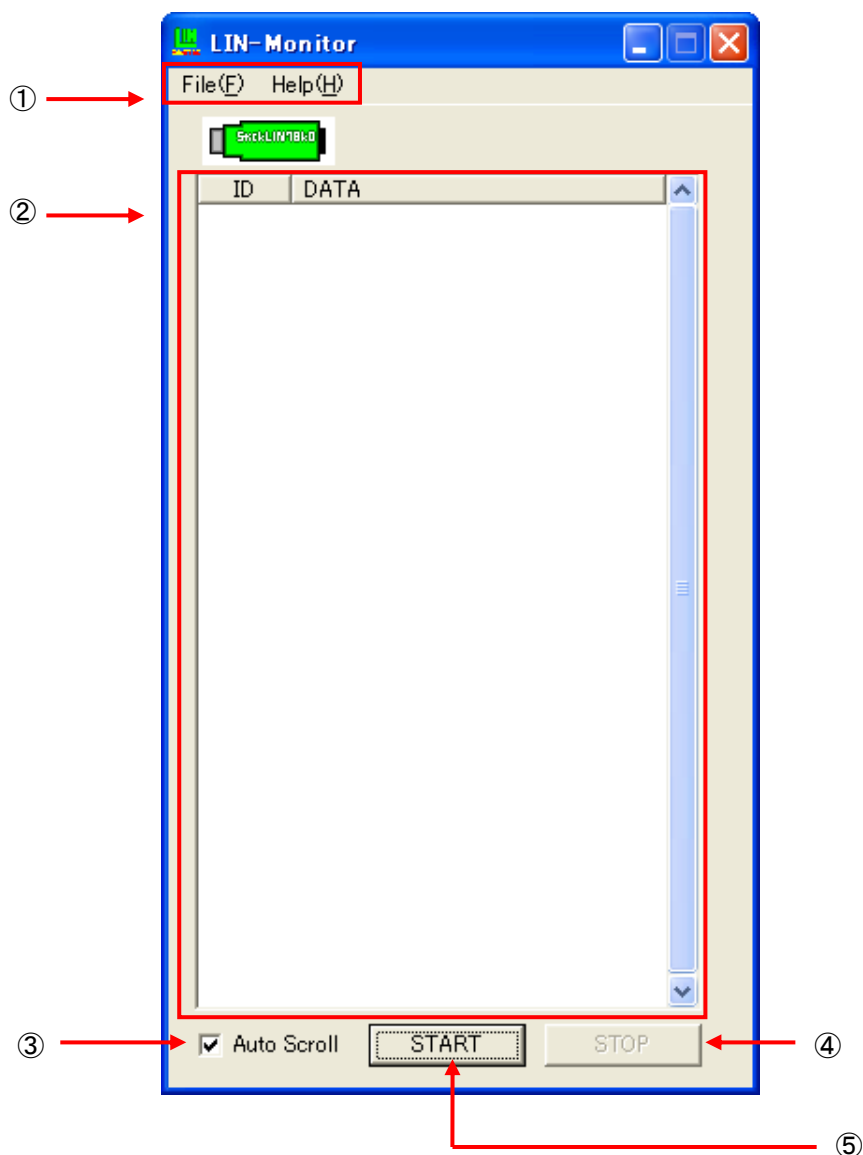
簡易 LIN-Monitor ユーザーズ・マニュアル

Ver. E0.60

テセラ・テクノロジー(株)

第1章 GUI の使用方法

1.1 メイン画面説明



①メニュー・バー
メニュー・バーです。

②モニタ表示部
モニタ内容が表示されます。

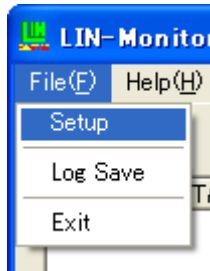
③Auto Scroll ON/OFF ボタン
チェックを入れると最新のモニタフレームが常に表示されるようにスクロールします。
チェックが入っていないとスクロールしません。

④STOP ボタン
モニタを停止します。

⑤START ボタン
モニタを開始します

1.2 メニュー説明

1.2.1 File メニュー



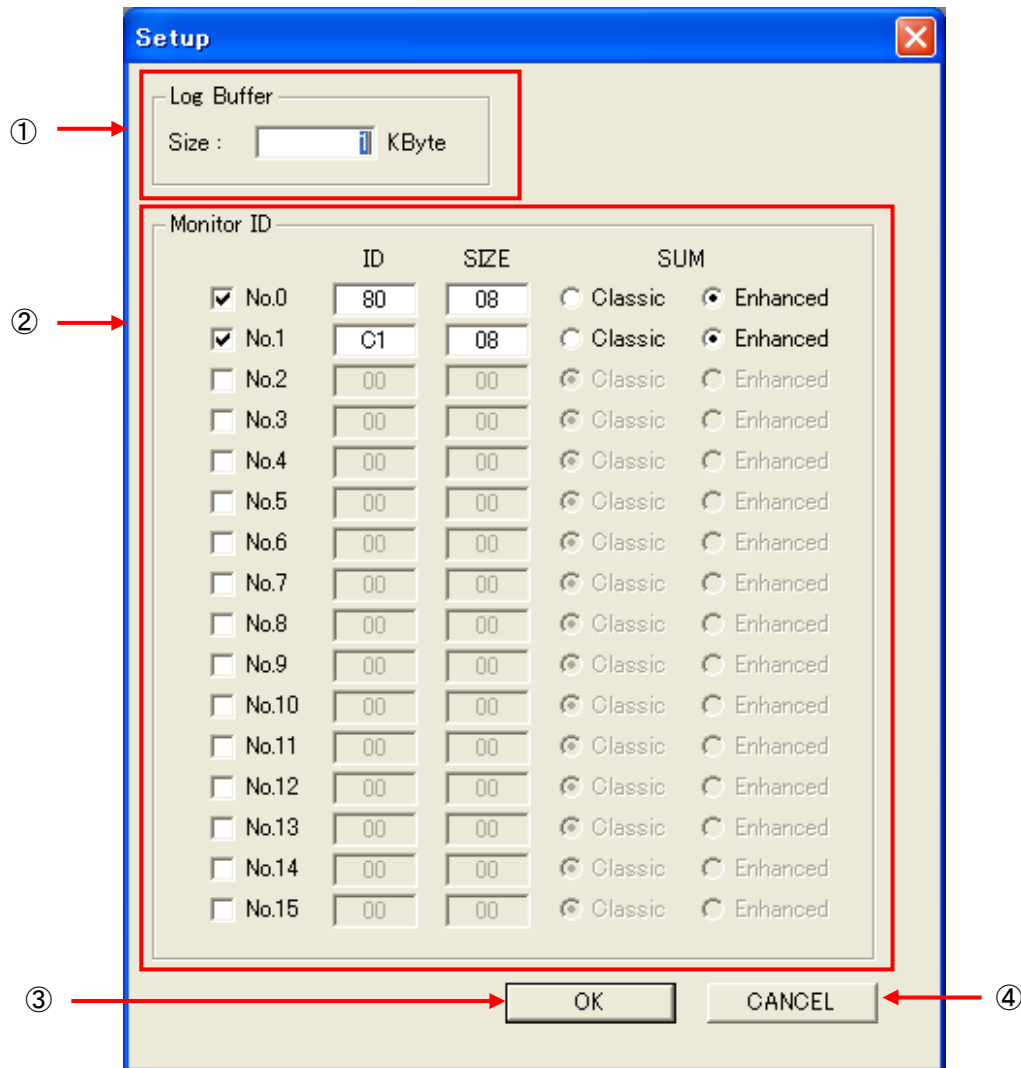
- Setup : Setup 画面を表示します。
- Log Save : Log の保存を行います。
- Exit : GUI を終了します。

1.2.3 Help メニュー



- About : バージョンを表示します。

1.3 Setup 画面説明



①Log Buffer 指定

Log バッファとしてパソコン上に確保するメモリ容量を指定します。
1フレーム約 10Byte が必要です。ここで確保した容量以上のフレームをモニタするとモニタを停止します。
入力可能な範囲は 1~100,000KByte です。

②Monitor ID 指定

モニタをする ID の設定を行います。チェックされている ID をモニタします。

- ID : ID の指定を行います。16 進表記 (0x は必要ありません) で入力します。
入力可能な範囲は 0x00~0xFF です。
- SIZE : サイズの指定を行います。入力可能な範囲は 0x00~0xFF です。
- SUM : チェックサムのタイプを指定します。Classic または、Enhanced を選択できます。

※ オート・ポーレート対応のためポーレートを設定する必要はありません。

③OK ボタン

設定した項目を反映させて、Setup 画面を終了します。

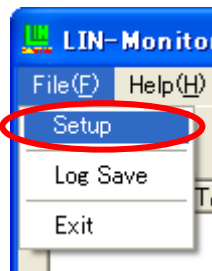
④CANCEL ボタン

設定した項目を反映させずに、Setup 画面を終了します。

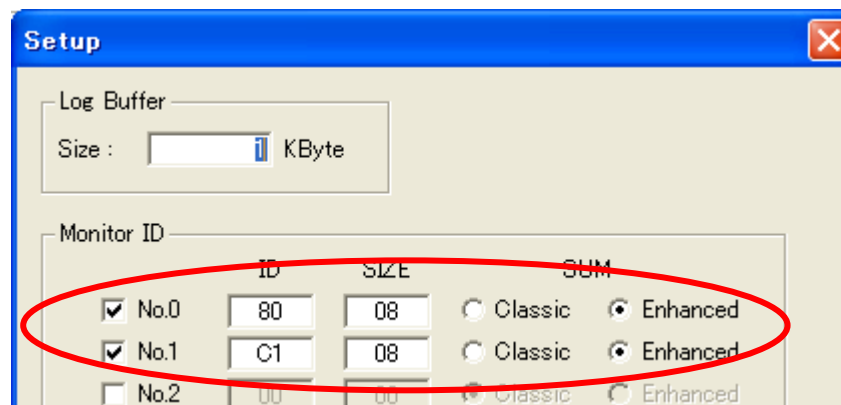
1.4 使用例

ID が 0x80 と 0xC1 をモニタするための使用方法を例として挙げます。

- ① WriteEZ3 を起動して StickLIN-78K0 にモニタ用のプログラム(HEX¥LIN-Monitor_v1.hex)を書き込みます。
※ WriteEZ3 の使い方は「StickLIN-78K0 ユーザーズ・マニュアル」を参照してください。
- ② LIN-Monitor.exe を起動します。
- ③ メニューの File→Setup より、Setup 画面を表示します。



- ④ Setup 画面で ID に 80 と C1 を入力してチェックをします。それぞれの SIZE と SUM はモニタする LIN の環境に合わせて指定して下さい。設定後、OK ボタンを押下して Setup 画面を閉じます。



- ⑤ Main 画面で START ボタンを押下して下さい。

- ⑥ 以下のようにモニタが始まります。

